

いざという時のために備えの再確認を

問危機管理課 Tel71-2119

① 防災マップの確認を Web でも見られます



自分の住んでいる地域にどんな災害の危険があるのかを知り、避難方法・経路を確認しておくことで安心です。いざという時のための備えの情報も掲載しているので一読をお願いします。



防災マップ

② レベル4で全員避難 防災気象情報をチェック！

気象庁から発表される防災気象情報が5月に新しくなりました。皆さんがとるべき行動がレベルごとに発表されます。発表時はテレビやインターネットなどで最新の情報を入手して行動してください。

警戒レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	皆さんがとるべき行動
	一級河川など大河川の氾濫	低地の浸水や大河川以外の氾濫	急斜面のがけ崩れや土石流	
5相当	レベル5 氾濫 特別警報	レベル5 大雨 特別警報	レベル5 土砂災害 特別警報	命の危険直ちに安全確保！
警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！				
4相当	レベル4 氾濫 危険警報	レベル4 大雨 危険警報	レベル4 土砂災害 危険警報	危険な場所から全員避難
3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害 警報	避難に時間がかかる人は早めに避難避難準備
2	レベル2 氾濫 注意報	レベル2 大雨 注意報	レベル2 土砂災害 注意報	避難行動を確認
1	早期注意情報			災害への心構えを高める

③ 正確な情報の入手が命を守ります

災害時は防災無線や市公式LINE、防災ラジオなどから避難情報を発信します。またキキクルでは、防災気象情報や自分が今いる場所の危険度を地図上で確認できます。

防災無線を聞き逃した時は
Tel0120-271-313で確認できます。



市公式LINE



キキクル

土石流発生から仮復旧までの記録

8月8日(土)

20:30

降雨のため全面通行止となる(県)
宿泊施設に孤立してる人数などの状況を確認(県)

8月9日(日)

4:30

安曇野警察署・建設業者とパトロール開始(県)

5:15 【写真①】

黒川橋が崩落しており、車両の通行ができないと安曇野警察署から情報提供を受ける(市)

6:40

報道機関へプレスリリース(市)

12:00

知事、副知事、市長、市、県とのウェブ会議を行い対策を検討。下山者用のバスの手配などを開始(市)

14:00

市、県と孤立している宿泊施設とウェブ会議。状況把握と下山方針を確認(市・県)

15:30 【写真②】

崩落箇所に歩行者用の仮橋設置完了(県)
孤立者の下山を開始

15:30~19:00 【写真③】

仮橋通過後の下山者を公用車で有明山神社登山者駐車場で待機するマイクロバスへ。マイクロバスで市内登山者駐車場・穂高駅へ輸送(市)

8月10日(月)

5:00~16:50

引き続き、仮橋通過後の下山者を市内登山者駐車場・穂高駅へ輸送(市)
孤立者全員の下山が完了

8月17日(月)

歩行者と一般車両の暫定的な通行再開を発表(県)

8月22日(土)

5:00 【写真④】

道路の仮復旧が完了し、車両と時間を制限した暫定的な通行を再開(県)。同時に温泉管も復旧。温泉郷などへの引湯が再開。登山口駐車場に残された自家用車の下山が可能に。緊急時のサポートを行う(市)

中房線・黒川沢崩落の記録と大雨への備え

中房線を通行する皆さんへ

9月12日現在、下記のとおり通行可能です。

平日 7:00~17:00

土日祝 5:00~18:00

※9/18からは全日5:00~18:00が通行可能になります。

☑歩行者・一般車両

(車幅2.2m以下、重量8トン以下)

※ご注意ください

降雨時などは通行規制を行う場合があります。

詳しくは安曇野建設事務所HPをご覧ください。



HP



2



3



4

8月8日(土)夜、局地的な大雨の影響で穂高有明の黒川沢で矢村線(通称・中房線)沿いの黒川沢で土石流が発生しました。宮城ゲートから1.5km先で、沢に架かる黒川橋(延長7m)が押し流されたほか、付近の道路に大量の土砂が流れ込みました。けが人はいなかったものの、橋の崩落により燕山荘や登山口付近の旅館に一時267人(9日午後2時時点)が取り残されました。

市と県では翌日の9日、ウェブ会議を行い対策を検討。この日の午後3時30分までに県による歩行者用の仮橋が設置され、10日夕方までに従業員を除く全員が無事下山しました。市では、崩落箇所から市内の登山者駐車場と駅まで下山者の輸送を行いました。

また、中房溪谷の源泉から引き湯し

ている穂高温泉郷の引湯管も破断。安曇野しやくなげの湯や八面大王足湯をはじめとする麓の温泉旅館や住宅、別荘など約1600軒に温泉が供給できなくなりました。

土石流発生から2週間後の8月22日(土)に県による道路の仮復旧が完了し、現在は時間制限を設けながら通行ができるようになっていきます。仮復旧と同時に温泉管(仮設)の修復も完了し、温泉の供給が再開されています。

この夏、千葉県や北陸地方などでも大雨による被害が発生しています。局地的な大雨や土石流などの水害リスクは、いつ、どこで発生してもおかしくない状況になっています。今回の災害を教訓に、いざという時のために家庭でできる備えと情報の集め方の再確認をお願いします。